

報道関係者 各位

2014年8月26日

貧困とは何か生きるとは何か？を考える

シンポジウム「南アフリカの過去と現在～ネルソン・マンデラから続く道～」

2014年10月11日（土）開催！ 国立民族学博物館

国立民族学博物館(大阪府吹田市)では、シンポジウム「南アフリカの過去と現在～ネルソン・マンデラから続く道～」を2014年10月11日(土)に開催する運びとなりました。

南アフリカの黒人で最初の大統領としていられているネルソン・マンデラ氏は、1993年アパルトヘイト（人種隔離）政策を廃止しました。廃止後20年経過した社会はどのように変わったのか。本シンポジウムでは、近年ますます進行する国内の都市化に注目して、都市での持続可能な資源利用や生き方について考えます。



○シンポジウムの見どころ

■日本で唯一アフリカの都市展示コーナーがあるみんなばくが、都市問題に迫ります！

当館の展示は日本で唯一、南アフリカの都市化に触れています。今回は、映画会と講演会を通して、これまで触れることのなかった途上国の都市問題に正面から迫ります。ますます拡大する都市化のなかで、そこにくらす人びとの真の姿を追求します。

【シンポジウム概要】

シンポジウム名	シンポジウム「南アフリカの過去と現在～ネルソン・マンデラから続く道」
日時	映画会 2014年10月11日(土)10:40～13:25（開場10:00） 講演会 2014年10月11日(土)14:15～16:30
会場	国立民族学博物館 講堂(吹田市千里万博公園10-1)
映画会タイトル	みんなばく映画会「遠い夜明け」
講演会タイトル	南アフリカの都市化
申込	申込不要
参加費	映画会 要展示観覧券 / 講演会 無料
主催	南アフリカ共和国大使館、国立民族学博物館

【プログラム】

10:00 開場 / 10:40～13:25 映画会 / 13:25～14:15 休憩 / 14:15～14:35 講演会
14:35～15:30 プレゼンテーション / 15:30～15:45 休憩
15:45～16:00 パフォーマンス (南アフリカ共和国出身のジョセフ・ンコシ氏によるマリンバ、ジェンベの演奏)
16:00～16:30 パネルディスカッション

【お問い合わせ】 国立民族学博物館 広報企画室 広報係
電話:06-6878-8560(直通) Fax:06-6875-0401 Mail:koho@idc.minpaku.ac.jp
プレス向けウェブサイト www.minpaku.ac.jp/press

【映画概要】

上映作品	遠い夜明け
内容	アパルトヘイト政権下の南アフリカ共和国で殺害された、最も著名な黒人解放活動家スティーヴ・ビゴと同国の有力紙デイリー・ディスパッチ紙の白人記者ドナルド・ウッズとの交友をベースに、当時の国内の暮らしが描かれている。
製作年	1987年
製作国	イギリス
提供	ユニバーサル・ピクチャーズ
上映時間	157分
監督	リチャード・アッテンボロー
出演	ケビン・クライン、デンゼル・ワシントンほか
言語	英語（日本語字幕付き）
司会・解説	池谷和信（国立民族学博物館 教授）

【講演会概要】

講演会タイトル	南アフリカの都市化
内容	南アフリカの都市には、見渡す限り掘っ建て小屋が広がっている。はたして、人びとのくらしは「貧しい」といえるのか。ますます拡大する都市化のなかで、そこにくらす人びとの真の姿を追求する。
参加者	モハウ・ペコ（南アフリカ共和国大使） ジョゼ・A・プピン・デ・オリベイラ（国連大学 研究員） 北川勝彦（関西大学 教授）
司会	三島禎子、川瀬慈（国立民族学博物館 准教授）
言語	日本語、英語（同時通訳あり）

【研究者紹介】

池谷和信（国立民族学博物館 教授）

1993年から1994年にかけて、南アフリカ共和国のケープタウン大学に客員教授として所属。このときの4月に行われた選挙で、マンデラ大統領が誕生。当時の状況を、映画「遠い夜明け」にも描かれる旧黒人居住区を対象にして調査・研究をしてきた。

三島禎子（国立民族学博物館 准教授）

文化人類学・西アフリカ研究者。地球上の「移動する人」について興味をもち、人はなぜ移動するのかという疑問から、西アフリカに故郷をもつソニンケという民族を中心に研究している。

モハウ・ペコ（南アフリカ共和国大使）

ジョゼ・A・プピン・デ・オリベイラ（国連大学 研究員）

北川勝彦（関西大学 教授）

【お問い合わせ】 国立民族学博物館 広報企画室 広報係
電話：06-6878-8560（直通） Fax：06-6875-0401 Mail：koho@idc.minpaku.ac.jp
プレス向けウェブサイト www.minpaku.ac.jp/press